

みなみ

第12号

財団法人大牟田医療協会
南大牟田病院・南大牟田クリニック
大牟田市臼井町 23-1、11-6
TEL0944-57-2000、57-3300

在宅医療

国民の約8割が病院のベッド上で人生の幕を下ろしており、年間の死者が100万人を超える多死の時代を迎えようとしています。このままでは、2030年には47万人もの人が、看取りの場を得られないまま、死に至る可能性すらあると言われています。大牟田市は急激な高齢化が進んでおり、安心して生活できるための医療支援の一つに在宅医療があります。

在宅医療という言葉は、ニュースや新聞、雑誌などで耳にした事がある人も少なくないかと思いますが、しかし、実際に在宅医療とはどのようなものか理解されている方は少ないのではないかと思いますので、ご紹介させていただきます。

在宅医療って何？

在宅医療とは、一言で言えば患者さんのご自宅（在宅）で、医療を行うことです。

往診と訪問診療はどう違うの？

一般に往診とは患者さんの求めに応じて、患者さんの急変時に診察を行う事を指します。一方訪問診療とは、何らかの疾患を抱え定期的に医療を受ける必要があるにも拘わらず、外来通院が困難な場合に、ご自宅に定期的に訪問し診察を行う事を指します。

訪問診療はどのようなことをしてくれるの？

訪問診療は経過観察レベルの患者さんや在宅酸素療法、在宅中心静脈栄養法等の患者さんの状態管理、使用している医療機器の管理等を行います。

このような患者さんの場合、多くは医者と看護師が協力して、訪問しながら患者さんのご自宅での生活を援助する事になります。

どのようにすれば在宅医療が受けられるの？

機器を付けたまま患者さんが退院したり、または寝たきり等になり、定期的に通院が困難になった場合で、在宅医療を依頼したいという場合は、まずは今までのかかり付けの先生にご相談して下さい。その先生が訪問診療を行っていれば、直接その先生にご依頼する事にな

りますし、行っていない場合は、訪問診療を行っている先生をご紹介下さると思います。入院中の患者さんの場合、病院によっては医療ソーシャルワーカーという相談員がいますので、その方にご相談して下さい。

在宅医療の場合、医療のみでは解決できない事が多くあります。家族の協力がなければ、問題が解決できない事も多くあります。そういう意味では家族の負担が多い医療である事は事実です。しかし、訪問ヘルパーやショートステイ、デイサービス等、少しでもご家族の負担が軽減できるような様々な介護サービスがあります。医療的な援助、介護や福祉の援助があって、ご家族の介護負担の軽減が図れる事になりますので、合わせて相談されてみてはいかがでしょうか。

在宅医療は個々の患者さんの状態や取り巻く環境により対応が異なります。当院でも、もっと早く相談を受けていれば何とか対応が出来たのにと考える患者さんがいらっしゃいます。実際に介護されている方で、何か困った事がある方は、出来るだけ早くご相談して下さい。

【当院の在宅医療についてのお問い合わせは】

訪問看護ステーションみなみ（江上）まで
TEL：0944-57-2101

地域交流施設「サロン・すいせん」でのイベントのお知らせ。

・毎週水曜日 午後3：00～午後4：00 「健康体操」

平成24年度「健康教室」の予定

・毎月第3木曜日 午後3：00～午後4：00 「健康教室」

4月：物忘れ	10月：かぜ・インフルエンザ
5月：肥満症	・肺炎
6月：熱中症	11月：脳梗塞
7月：食中毒	12月：飲酒・肝炎
8月：禁煙	1月：花粉症対策
9月：乾燥による痒み対策	2月：狭心症・心筋梗塞
	3月：骨粗鬆症

参加自由、無料です。多数のご参加をお待ちしております。

詳しくは、☎0944-53-8824（日巻）まで

少しずつ暖かくなり、桜の開花の知らせが届く季節になりました。しかし、東北被災地の春は、まだ時間がかかりそうです。早い復旧・復興を心から願うばかりです。

担当：平山 和也

2012. 4